

FileMaker Serverの バックアップ機能の徹底活用法

2014/11/27

FileMaker カンファレンス 2014 発表資料
松尾篤（株式会社エミック）

自己紹介

- ・ 松尾 篤（まつお あつし）

- ✓ 株式会社エミック 代表取締役

- ・ FileMaker Server対応Webフレームワーク「INTER-Mediator」コミッター

- ・ ブログ「FAMLog」 <http://www.famlog.jp/>

- ・ 「カスタムWeb勉強会」を隔月で開催

- ・ 執筆書籍「FileMaker Server カスタムWebテクニック」（BNN新社）

- ✓ FileMaker 8 / 9 / 10 / 11 / 12 / 13 Certified Developer



株式会社エミック

- ・ FileMaker製品対応ホスティングサービスを
1998年から提供
 - ✓ 今年で16年、「**FMPress**」としてサービスをリニューアル
 - ✓ データベースからモバイル対応Webアプリを生成する
「**FMPress Publisher**」を搭載
- ・ <https://www.emic.co.jp/>



FMPress Publisher

FileMaker Proで作る

Webアプリとして使う



自動生成



結論

- FileMaker Serverを使う
- 事前にバックアップ計画を立てる
- 「データなしのコピー」ファイルの作成
および保持がとても重要

今回の話題

1. FileMaker Serverはなぜ必要か
2. FileMaker Serverのバックアップ機能
3. ファイルの修復に関する誤解

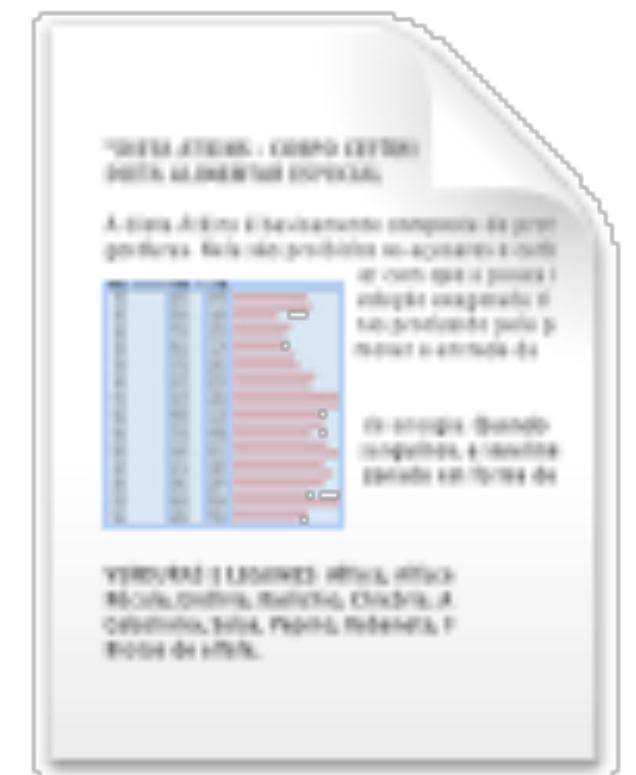
1. FileMaker Serverは なぜ必要か

このようなことに直面 したことはありますか？

- 特定のレイアウトに移動すると
FileMaker Proがクラッシュする
- あるはずのレコードを検索できない
- FileMaker Serverでファイルが破損し
た旨のログが出力される

ファイルが壊れるとき

- 適切にファイルが閉じられなかった 
- OSやFileMakerソフトウェアの異常終了
- ハードウェアの致命的な故障
- サーバーコンピューターの停電 etc.



損傷を防ぐには

- 適切にファイルが閉じられなかったという事態をできるだけ避ける
- 動作中のファイルをコピーしない
- データベースフォルダ以下をアンチウイルスソフトのスキャン対象にしない



FileMaker Serverなら

- ライブバックアップ機能を標準搭載
- 他にもWeb公開やSSL暗号化通信、Active Directory/Open Directoryによる外部認証等にも対応



ライブバックアップ

- データベースを使用中でもバックアップ処理を実行できる
- 事前にAdmin Consoleで設定しておくことでデータベースが自動でバックアップされる



2. FileMaker Serverの バックアップ機能

2種類のバックアップ方法

- バックアップスケジュール
- プログレッシブバックアップ



バックアップスケジュール

- Admin Consoleのスケジュールアシスタントで設定
- 保持するバックアップの最大数（世代数）は99まで指定可能



1. タイプ

2. データベース

3. バックアップ

4. 詳細

5. オプション

6. 概要

タスクの選択:

☒ データベースをバックアップ

データベースファイルをバックアップするスケジュールを設定します。ネットワークでファイルを共有する場合には、定期的にバックアップすることが重要です。

☐ メッセージを送信

メッセージを作成し、メッセージを FileMaker クライアントに配信するスケジュールを設定します。

メッセージでは、サーバーのシャットダウン、データベースのアップグレード、または近日中の締め切りなどのイベントをユーザに通知できます。

☐ システムレベルのスクリプト

シェルスクリプトやバッチファイルなどのシステムレベルのスクリプトを実行するためのスケジュールを設定します。

☐ FileMaker スクリプト

FileMaker データベース内の FileMaker スクリプトを実行するためのスケジュールをセットアップします。

☐ スクリプトシーケンス

オプションのシステムレベルのスクリプトを使用した FileMaker スクリプトを FileMaker スクリプトの前後に実行するためのスケジュールを設定します。

☐ データベースを検証

データベースファイルの状態を検証するためのスケジュールをセットアップします。

キャンセル

戻る

進む

完了

バックアップ先の設定

- Admin Consoleでバックアップフォルダを指定

—— バックアップフォルダ ——

FileMaker Server は、[データベースのバックアップ] スケジュールが作成された場合に、このフォルダをデフォルトのバックアップ保存先として使用します。

パス: filemac:/ExternalHD/Backups/

バックアップ スケジュールの設定

- ・インストール後に登録されているバックアップスケジュールは「毎日」のみ

スケジュール ?						
☒ 有効なスケジュールを実行可能にする						
有効	名前 ▲	タイプ	前回完了日時	状態	次回の実行	グループ名
☐	毎時	バックアップ			無効	
☐	毎週	バックアップ			無効	
☒	毎日	バックアップ			2014/11/25 23:00:00	

スケジュールの設定例

スケジュール名	実行日時	世代数
half-hourly	毎時0分、30分	4
daily	毎日3時	7

スケジュールの設定例

スケジュール名	実行日時	世代数
half-hourly	毎時0分、30分	4
daily	毎日3時	7
weekly	毎週土曜3時	4
monthly	毎月1日3時	12

バックアップ先の空きディスク容量を確認して
保持するバックアップの最大数（世代数）を決定

スケジュールの設定例

スケジュール名	実行日時	世代数
half-daily	毎日0時、12時	2
daily	毎日3時	7
weekly	毎週土曜3時	4
monthly	毎月1日3時	12

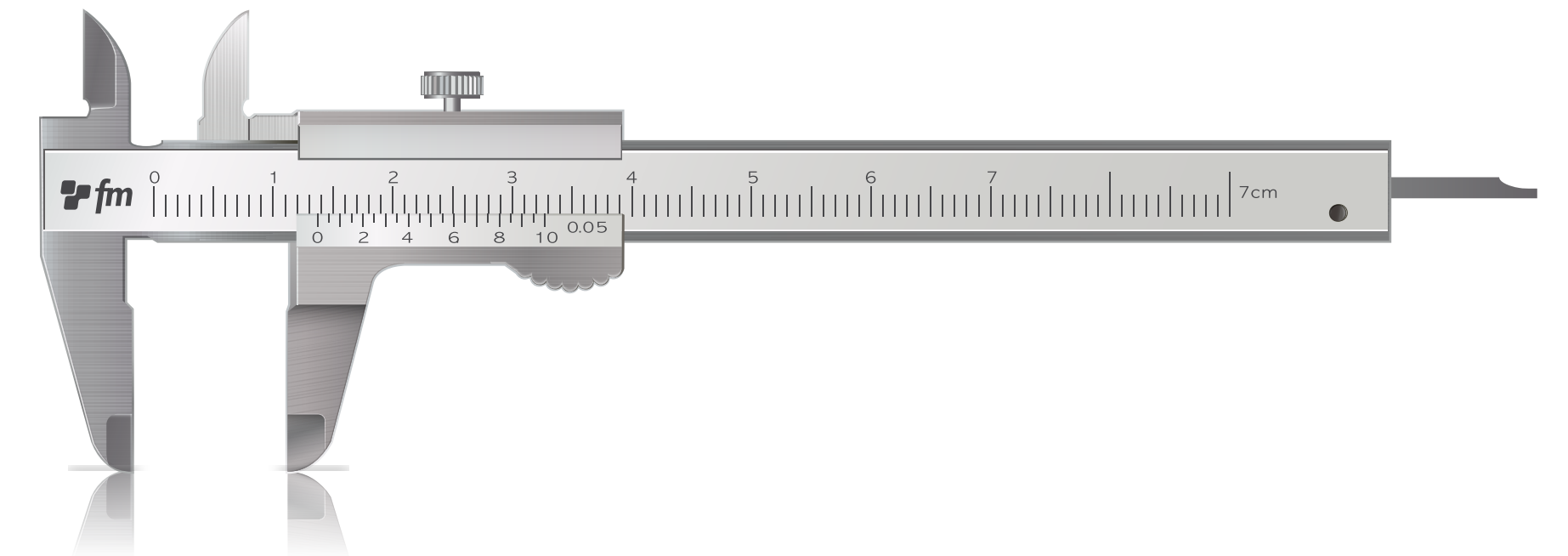
バックアップのタイミングはデータベース
ファイルのサイズや業務の時間帯を考慮

プログレッシブバックアップ

- FileMaker Server 12以降で利用可能
- バックアップスケジュールを補完する形で使用

プログレッシブ バックアップの挙動

- 1回目はフルバックアップ
- 2回目以降は内部的に変更分のみバックアップするのでスケジュールバックアップより高速



プログレッシブ バックアップの設定

- Admin Consoleでプログレッシブバックアップフォルダおよび保存間隔を指定

保存間隔（分）：*

パス：*

☒ プログレッシブバックアップを有効にする

30

filemac:/ExternalHD/ProgressiveBackups/

プログレッシブ バックアップの注意点

- 最終的に生成されるバックアップファイルはフルバックアップファイル
- 2世代のみ保存（保存間隔には要注意）
- 保存間隔が短いとさかのぼれない

関連URL

- プログレッシブバックアップに関するFAQ
(FileMaker ナレッジベース)

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/10661

FileMaker Serverでは

- バックアップ先は別の物理ドライブを推奨
- バックアップフォルダ内にあるファイルは
絶対開かない・編集しない
- 復元時にはバックアップフォルダ内のファイルを必ずコピー



万が一に備えて

- 製品の機能・特性を把握した上で事前にバックアップ計画を立てることが大事
- バックアップ機能が正常動作しているか定期的に確認する
- バックアップをアーカイブする

アーカイブ

- バックアップファイルを別媒体に保管
- 古いバックアップは上書きされる
- 複数世代のバックアップをとっておき
特定の時点に戻れるように



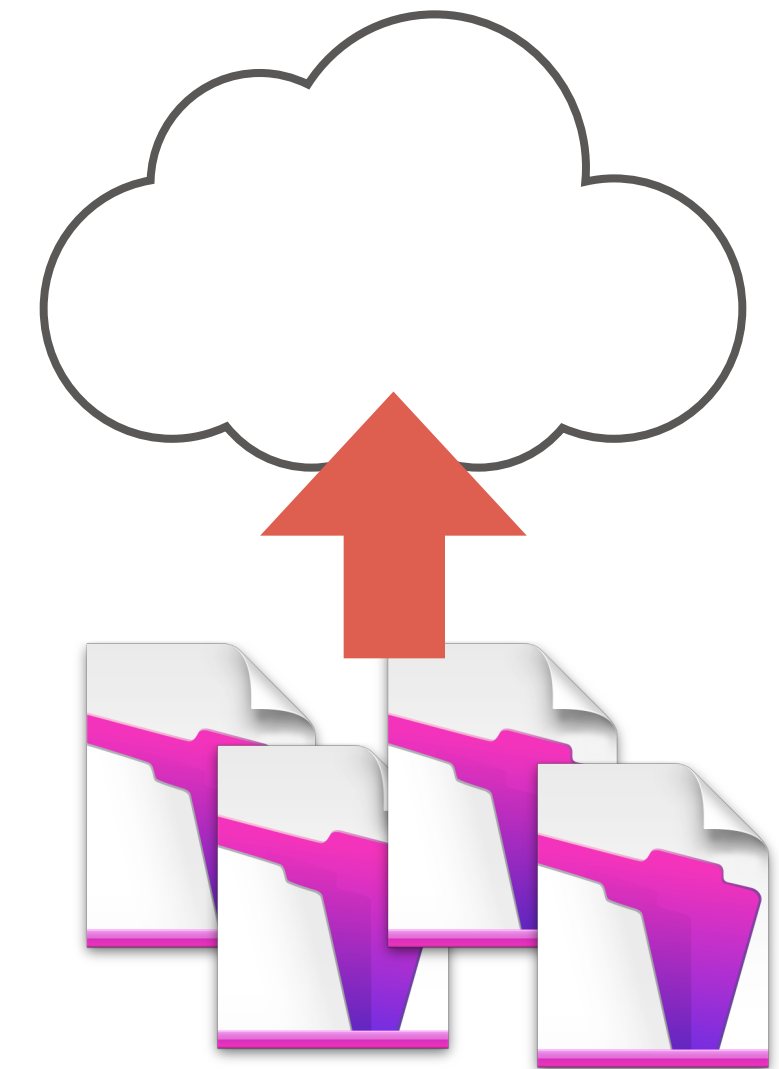
コマンドラインツール

- Robocopy (Windows)
- rsync (OS X)



遠隔バックアップ

- バックアップデータを遠隔地に保存
- 不測の事態に備える



3. ファイルの修復に 関する誤解

データベースに 含まれているもの

- データ
- データベースの構造（フィールド定義、レイアウト、スクリプト等）



修復の実際

- 「損傷したデータベースファイルをFileMaker Proの修復機能で修理できる」という認識は間違い

修復ではなく救出

- 破損していないデータの救出
 - ▶ 修復ファイルの継続使用は危険

重要な点

- データベースの構造については 「データなしのコピー」ファイル として保存して別途保管
- このファイルを使うときは 必ずコピーしてから使う

データベースの保全

- 「データなしコピー」ファイルの作成と保守
- データのバックアップとアーカイブ
- 修復機能はデータ救出用として使う

詳しくは

- ファイル管理のベストプラクティス
(FileMaker ナレッジベース)

[http://filemaker-jp.custhelp.com/
app/answers/detail/a_id/12929](http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/12929)

まとめ

まとめ

- FileMaker Serverを使う
 - ライブバックアップ機能を標準搭載
- 事前にバックアップ計画を立てる
- 「データなしのコピー」 ファイルの作成
および保持が重要